

石をとる手筋1

●シチョウ●

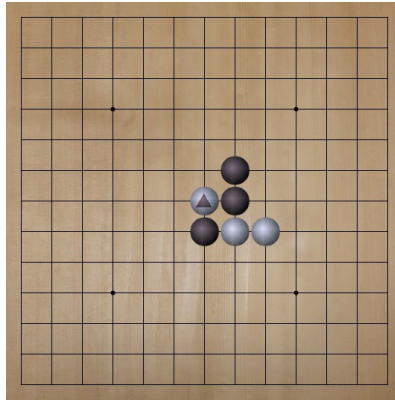
アタリアタリとジグザグにおいかけてあいての石をおいつめる手筋が『シチョウ』です

「シチョウしらずに碁を打つな」ということばがあるほどよくでてくるので、しっかりおぼえましょう

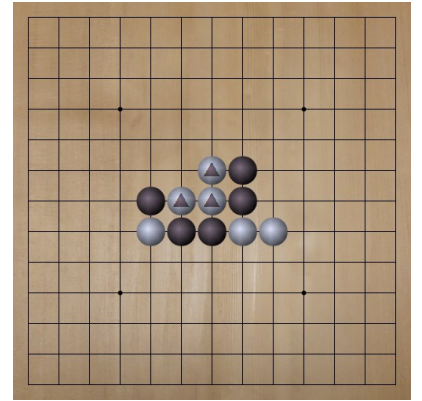
もんだい①・②

△の白をシチョウでとるにはどコへうてばよいでしょうか？
アタリのかけかたをまちがえないようにきをつけましょう

もんだい①



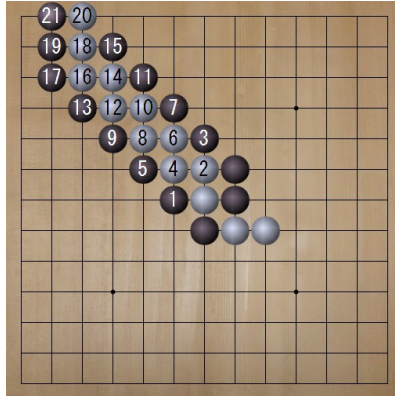
もんだい②



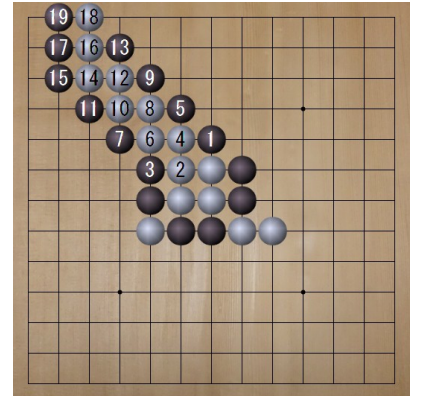
せいかい①・②

黒1〜3とアタリをかけるのがポイントです
にげる白をジグザグにおってとることができました


せいかい①

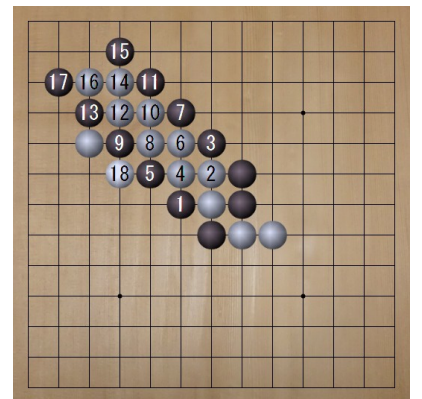
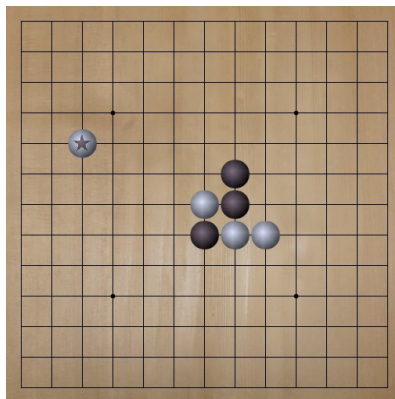


せいかい②



シチョウアタリに注意！

☆の白石がシチョウアタリだ
シチョウアタリがあるときにシチョウにおいかけてしまうと白をとることができないうえに黒はキズだらけになってしまうのでちゅういしよう 



石をとる手筋2

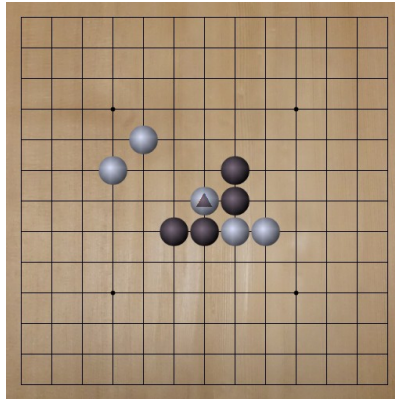
●ゲタ●

ふわっとアミをかぶせるような手筋が『ゲタ』です
シチョウとならんでとてもよくでてくる手筋なので
あわせておぼえておきましょう

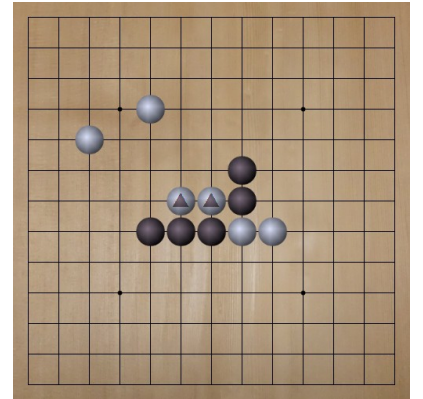
もんだい①・②

△の白をゲタでとるには
どこへうてばよいでしょうか？

もんだい①



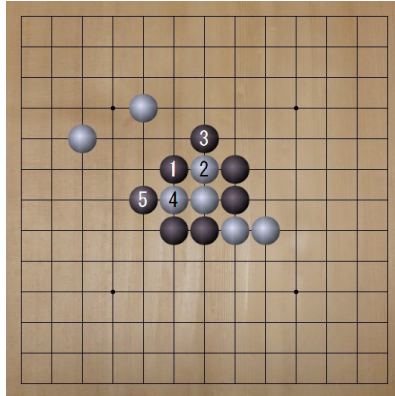
もんだい②



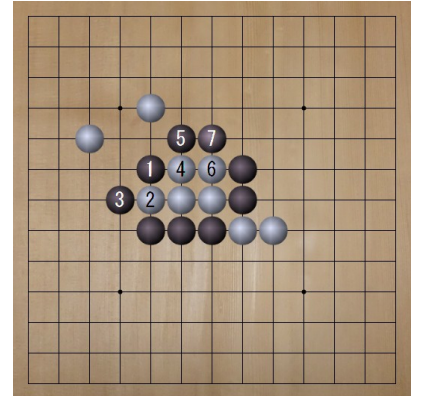
せいかい①・②

黒1がせいかいです。
白がにげようとしても
つかまってしまうですね


せいかい①

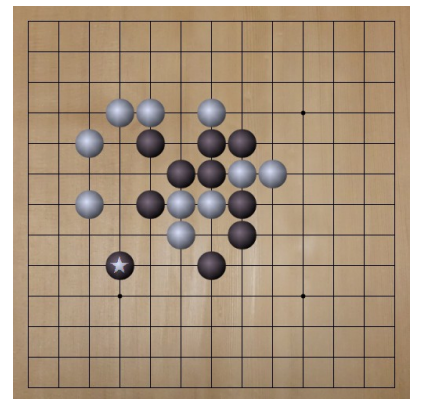
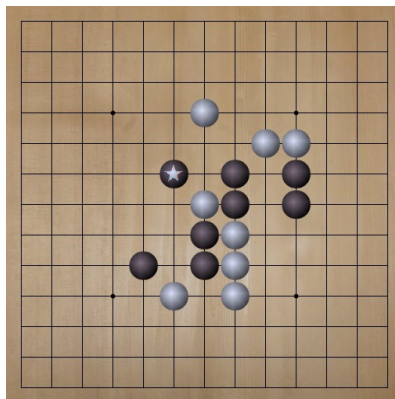


せいかい②



いろいろなゲタ

ゲタとよばれるかたちは
まだまだあります
こういったかたちもそう
すこしひねったゲタですが
しろをとれているのが
わかるかな？ 



石をとる手筋3

●オイトシ●

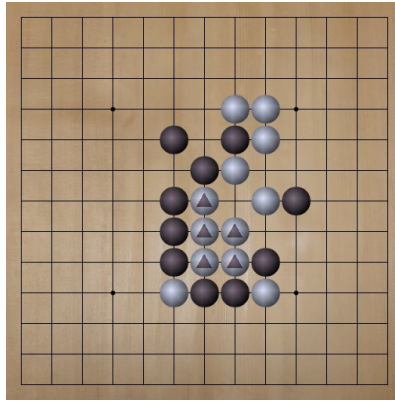
あいての石をつながらせるようにアタリをかけ
つないできたらまとめてとってしまうぞ
という手筋が『オイトシ』です

『トントン』や『バタバタ』とよばれることもあります

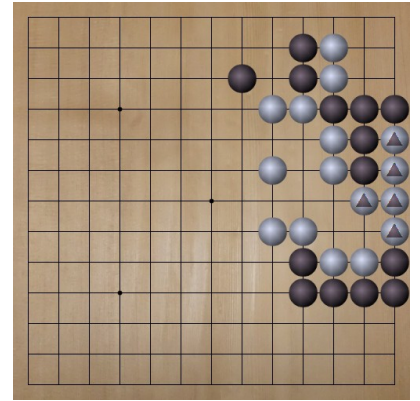
もんだい①・②

△の白をオイトシでとるには
どこへうてばよいでしょうか？

もんだい①



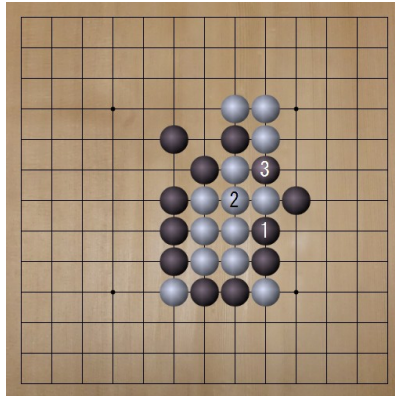
もんだい②



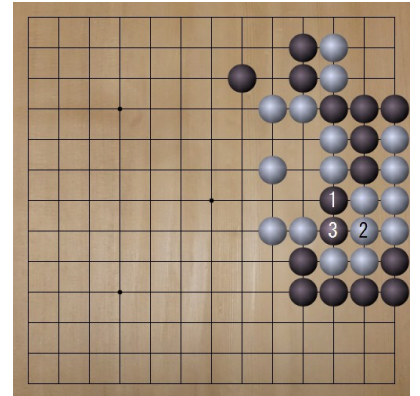
せいかい①・②

黒1とアタリをかけるのが
せいかいです
白2とつないだりしたら黒3で
まとめてごよう！となります

せいかい①

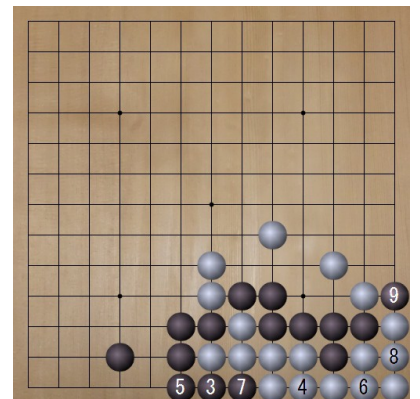
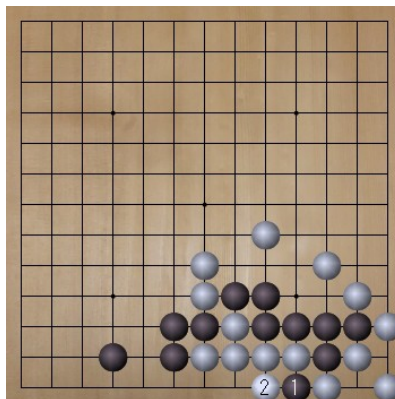


せいかい②



こんなオイトシもある

白をとるのはムリそうなたち
ところが黒1のホウリコミが
オイトシへみちびくしゅだん
白2ととると黒3から
みごとなオイトシが
きまるのだ



石をとる手筋4

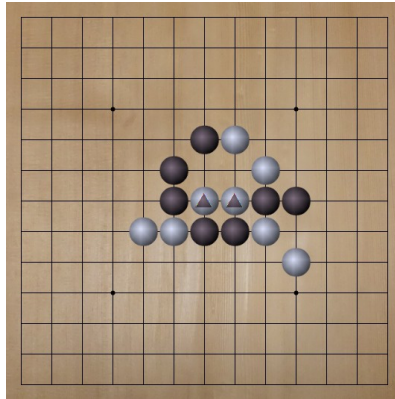
●ウツテガエシ●

わざとあいてに石をとらせる『ホウリコミ』をうって
あいてがとったらすかさずとりかえす手筋が
『ウツテガエシ』です
きまるとあざやか、だいにんぎの手筋です

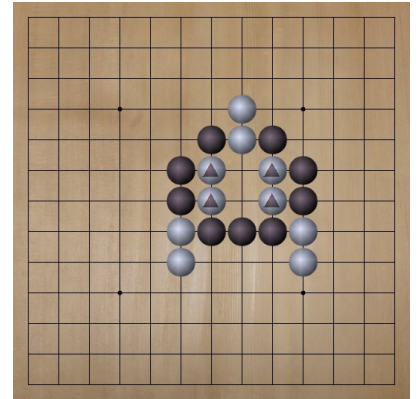
もんだい①・2

△の白をウツテガエシでとるには
どこへうてばよいでしょうか？

もんだい①



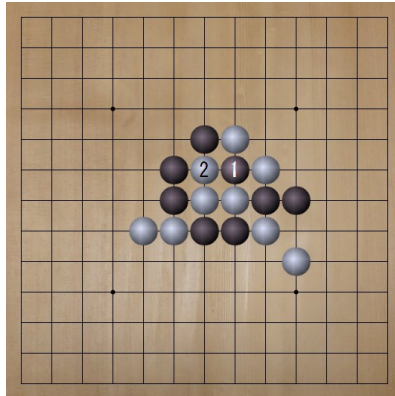
もんだい②



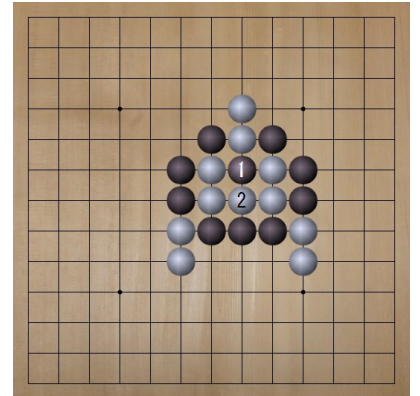
せいかい①・2

黒1とホウリコミのがせいかい
白2ととってきたら
ふたたびおなじところへうてば
ウツテガエシがきまります

せいかい①



せいかい②



ウツテガエシの応用



このようなきよくめんでは
黒はAへ打つかわりに
右の図のようにハネて打っても
ウツテガエシのかたちで
△の白をとることができよ
そのほうが白地がへるぶん
おトクなんだ

